



蒲生公民館図書室 1月の展示紹介



「貸出ベスト 2023」

昨年、図書室で貸出の多かった本を
を発表。ぜひご覧ください♪

＜一般書＞
1位

「貸本屋おせん」
高瀬乃一 著（文藝春秋）

＜児童書＞
1位

「ピカチュウとよるのたんけん」
まつおりかこ 著（小学館）

文化年間の江戸浅草、女手ひとつで貸本屋を営むおせん。読本を巡る事件に巻き込まれながら、信念を貫くおせんの姿を描いた物語。



舞台は夜のまっくらやま。おなじみのピカチュウやデデンネ、イーブイたちだけでなく、夜に出会えるおともだちもたくさん登場する絵本。

「龍の絵本」

2024年は辰年。龍にまつわる絵本や、お正月の絵本を展示。



Pick up! /

「あのことへんナコ」ワダアスカ さく・え
角はシカ、顔はラクダ、体はヘビ、足はトラ。どんな動物とも似てないけれど…自分に自身が持てる物語。
「もっかい!」エミリー・グラヴェット さく
ドラゴンのセドリックは、お休みに前に絵本を読んでもらうのが大好き。遊び心がいっぱい絵本。

「冬の絵本」

寒い冬こそ本を読もう！冬にぴったりの絵本を展示。

Pick up! /

「ちいちゃんとゆきだるま」 しみすみちを 作
ちいちゃんが朝起きると、お外は雪で真っ白。冬の雪あそびの楽しさが伝わる絵本。
「ゆきのげきじょう」 荒井良二 作
友達と遊んでいる時に、お父さんの本を破いてしまった男の子。雪の降る町で起きた、不思議ですてきな物語。

